

浅田 二郎 議員

国保税賦課方式の改善を

**問** 「国保」の保険料負担率は10・5%と、「協会けんぽ」7・5%、「組合健保」5・8%に比べ高い。本市としても賦課方法の改善が必要である。「資産割」の廃止は、県の保険料統一を待つのではなく、検討すべきでは。

**答** 県内の標準的算定方式は「所得割」「均等割」「平等割」の3方式であることから、「資産割」の段階的な廃止を行うよう、時期も含めて引き続き検討していきたい。

**問** 0歳児から一人あたり3万2500円の「均等割」が課せられる。子育て支援からも、子どもの「均等割」は軽減できないか。

**答** 本市独自の減免を実施する考えはない。全国市長会を通じて、子どもに係る均等割を軽減する制度を要望していきたい。

戸塚 哲夫 議員

アドバンス・ケア・プランニングの推進

**問** この取り組みには欠かせない医療・介護人材の育成にどう取り組むのか。

**答** 国が定めた「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」に関するガイドラインに沿って、緩和ケア専門医や緩和ケア認定看護師等を交えた医療介護の人材育成を目的とした研修を行っていきたい。

**問** 認知度の低いアドバンス・ケア・プランニングを市民にどう周知していくのか。

**答** 愛称が「人生会議」という、なじみやすい言葉になったことをチャンスと考え、今後市民講座や、フォーラム、コミュニティセンター、まちづくり協議会での会議などでの案内、また、ホームページでの知識の啓発等、さまざまな場面での啓発活動に努めていきたい。



袋井駅北口仮設駐輪場

駅前駐輪場の閉鎖手続は適切だったか

**問** 袋井駅北口市有地活用事業のため、突然、強引に駐輪場が閉鎖されたが、どのように利用者へ周知したのか。

**答** 2月1日から一時中止について、当施設利用者へは、ホームページへ掲載することも、駐車場や駐輪場に掲示した。また、住所のわかる定期利用者にも郵送で周知した。

マイ・タイムラインの作成は

**問** 本市の防災対策に組み入れ、普及していく考えは。

**答** マイ・タイムラインは、それぞれの状況に合った自らの行動計画で、逃げ遅れの防止につながる。また、普及事業を予定していることから県とも連携を図り、市民が地域の水害リスクを正しく認識し、適正な避難行動ができるよう進めていきたい。



動画 タイムラインで災害に立ち向かう  
(出典:国土交通省ホームページ <http://www.mlit.go.jp/river/bousai/timeline/>)